

平成二十八年八月八日受領  
答 弁 第 四 一 二 号

内閣衆質一九一第四二号

平成二十八年八月八日

内閣総理大臣 安倍 晋 三

衆議院議長 大島 理 森 殿

衆議院議員初鹿明博君提出教員の部活動に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員初鹿明博君提出教員の部活動に関する質問に対する答弁書

部活動は、生徒をスポーツや文化等に親しませるといふ点及び生徒の学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するといふ点で意義の高いものである一方で、適切な休養を伴わない行き過ぎたものとなることにより、教員及び生徒に様々な弊害を生ずることもある。

そのため、文部科学省としては、同省の「次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース」において本年六月十三日に「教員の勤務負担の軽減のみならず、生徒の多様な体験を充実させ、健全な成長を促す観点からも、休養日の設定の徹底をはじめ、部活動の大胆な見直しを行い、適正化を推進する」こと等を内容とする「学校現場における業務の適正化に向けて」を取りまとめたことを踏まえ、お尋ねの「部活動に充てる時間に制限を設けること」等について検討を行っているところである。